

社会資本総合整備計画

小田原城城下町地区における街なみ環境の向上(第1回変更)

おだわらし
小田原市

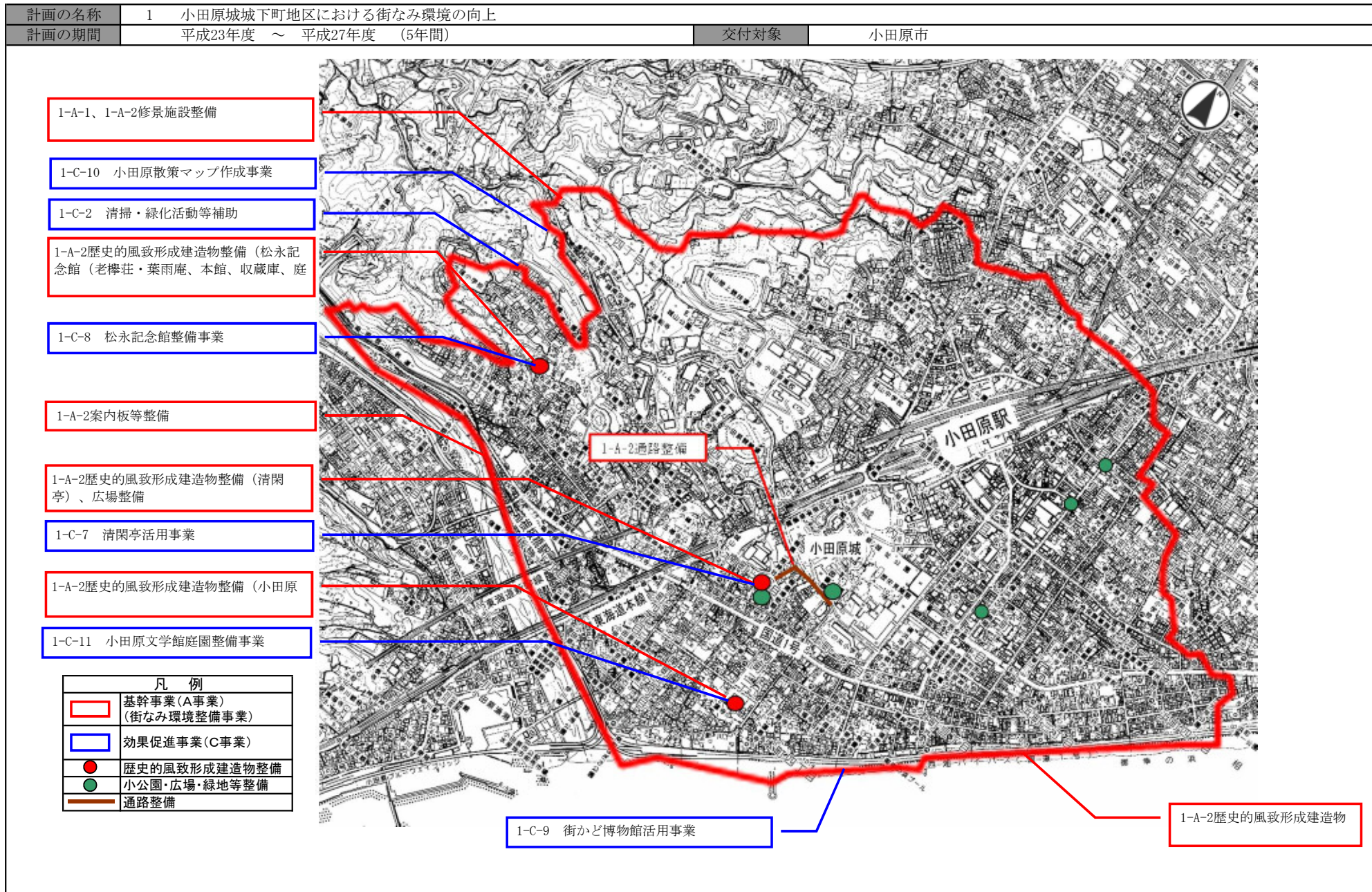
平成24年3月8日

社会資本総合整備計画

平成 24 年 3 月 8 日

計画の名称	1 小田原城下町地区における街なみ環境の向上																										
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)					交付対象	小田原市																				
計画の目標	歴史的なまちなみとそれを結ぶルートを整備するなど、歴史文化やなりわいが感じられ、ホスピタリティあふれる街なみを形成し、地区を安心して訪れ、集い、憩い、交流する人々の姿が活き活きと映える、賑わいあるまちを目指す。																										
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 事業地区内における修景整備件数を0件(H23)から25件(H27末)に増加 観光交流の拠点に位置付けている清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数を38,759人/年から39,935人/年に増加 																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値 (H25末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0件</td> <td>-</td> <td>25件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値</th> <th>当初現況値 (平成22年度実績)</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>38,759人/年</td> <td>39,935人/年</td> </tr> </tbody> </table>										修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	0件	-	25件	利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	当初現況値 (平成22年度実績)	最終目標値		38,759人/年	39,935人/年
修景整備件数 事業地区内における建築物、建築設備、看板等の修景整備件数を調査する。	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)																								
	0件	-	25件																								
利用者数 清閑亭、松永記念館、小田原文学館の利用者数の合計値	当初現況値 (平成22年度実績)	最終目標値																									
	38,759人/年	39,935人/年																									
全体事業費	合計(A+B+C)	1,205.5 百万円	A	1,050.0 百万円	B	0 百万円	C	155.5 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	12.9%																	
交付対象事業																											
A 基幹事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考													
								H23	H24	H25	H26	H27															
1-A-1	住宅	一般	小田原市	直接/間接	市/民間	銀座・竹の花周辺地区 街なみ環境整備事業	協議会活動助成事業、小公園及び緑地等整備、案内板等整備、測量・調査設計、建築物等修景整備助成、道路美装化						6.4														
1-A-2	住宅	一般	小田原市	直接/間接	市/民間	小田原城下町地区 街なみ環境整備事業	協議会活動助成事業、小公園・広場・緑地等整備、通路整備、案内板等整備、測量・調査設計、歴史的風致形成建造物整備、建築物等修景整備助成						1,043.6														
合計												1,050.0															
B 関連社会資本整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考											
										H23	H24	H25	H26	H27													
合計												0															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																
C 効果促進事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考											
										H23	H24	H25	H26	H27													
1-C-2	住宅	一般	小田原市	間接	団体	-	清掃・緑化活動支援事業	清掃・緑化活動等補助	小田原市						0.6												
1-C-7	住宅	一般	小田原市	間接	団体	-	清閑亭活用事業	民間団体による清閑亭の活用	小田原市						37.0												
1-C-8	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	松永記念館整備事業	別館の改修	小田原市						107.8												
1-C-9	住宅	一般	小田原市	間接	団体	-	街かど博物館活用事業	看板作成	小田原市						0.6												
1-C-10	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原散策マップ等作成事業	歴史案内図作成及び配布	小田原市						2.0												
1-C-11	住宅	一般	小田原市	直接	市	-	小田原文学館庭園整備事業	庭園整備	小田原市						7.5												
合計												155.5															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																
1-C-2	公共空間の清掃と積極的な緑化を推進することで、街なみ環境の向上を図る。																										
1-C-7	城跡を中心とした中心市街地の回遊拠点、交流・休憩・体験学習施設として活用することにより、回遊性の向上を図る。																										
1-C-8	施設と一体的に歴史的風致を形成している別館の展示改修を実施することにより施設全体の魅力を高める。																										
1-C-9	小田原の産業にかかわるひと・製品・ものづくりの結びつきを紹介する街かど博物館に歴史文化やなりわいが感じられる看板を設けることにより街なみや回遊性の向上を図り、地域の歴史文化への理解を深める。																										
1-C-10	散策パンフレットによる情報提供や回遊ルートの設定により、小田原城下に点在する歴史的資源を市民や来訪者に発信し、回遊性の向上を図る。																										
1-C-11	庭園整備を実施することで、その施設自体の全体的な価値の向上を図ることにより、総じて歴史的風致の維持向上を図る。																										

(参考図面) 地域住宅支援



社会資本整備総合交付金チェックシート

(地域住宅支援事業)

計画の名称：小田原城下町地区における街なみ環境の向上

事業主体名：小田原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合が確保されている。	
1)小田原市総合計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
②歴史的風致維持向上計画との整合性が確保されている	
1)歴史的風致維持向上計画の重点区域の一部もしくは全部を含む区域である	○
③地域の課題への対応	
1)地域の課題や特性を踏まえた目標設定となっている。	○
2)目標は、達成の必要性が高いものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)整備計画の目標と定量的指標(数値目標)の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
3)目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
4)関連事業を効果的に組み合わせている。	○
④事業の効果	
1)事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
2)効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画について住民等との合意形成ができている。	○
2)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑥地元の熱意	
1)事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
2)継続的な事業の展開が見込める。	○